

「第 12 回群馬大学理工学系技術部技術発表会」開催報告

群馬大学理工学系技術部は、平成 25 年 9 月 10 日（火）、理工学図書館を会場に 4 大学 1 高等専門学校を含む 65 名の参加をいただき「第 12 回群馬大学理工学系技術部技術発表会」を開催しました。

はじめに石川治理事、篠塚和夫理工学部長より技術発表会を開催していく上で励ましの言葉となるご挨拶をいただきました。

午前の特別講演では理工学部長・分子科学部門の篠塚和夫教授より「ケイ素官能基を持つ新規蛍光剤の開発とその生体分子標識化への応用」について講演をいただき、先生の行っている最近の研究をわかりやすく講演いただき、大変興味深く聴講することができました。

また、午後の特別講演では知能機械創製部門の新井雅隆教授より「危険管理と危機回避活動」について講演をいただきました。新井先生のお話におきましては、自分の業務である機械系の大型機械操作ともつながるお話で大変勉強になる講演でした。

技術関連発表の部では、午前 3 テーマ、午後 6 テーマの計 9 件の口頭発表が活発に行われ、たくさんの方々に発表を聞いていただくことができました。定年退職を迎える方の発表では、昔の技術職員の業務の様子なども聞くことができ、大変興味深く聴講させていただきました。

ポスター発表は 6 件行われ、外部の来場者が各ブースの担当者へ活発に質問をしている様子も見られて盛況でした。

最後に閉会の挨拶として、尾池統括技術長より今回参加いただいた他大学、他機関の方々へ感謝の言葉が述べられ、技術発表会が閉会されました。

その後、構内の生協（桐園）にて短い時間でしたが懇親会が行われ、特別講演をしていただいた先生方の挨拶も交えながら、参加いただいた他大学・他機関の方々との交流も深め、非常に有意義な時間を過ごすことができました。

最後に、技術発表会に参加して、他大学・他機関の方々との交流できる機会もあり、発表会を通じて情報発信を行うだけでなく、お互いの大学・機関等の情報交換などの場でもある有意義な会であったと実感しました。今後も発表会での改善点などを話し合い、技術発表会が今まで以上にによりよい発表や交流の場となるように尽力していきたいと思えます。

（文責：技術発表委員会 齋藤）



「レーザー機器取り扱い安全講習会」について

昨年12月18日(水)16:00より8N33教室にて、知能機械創製部門の石間教授を講師に迎え、レーザー機器の取り扱いに関する安全講習会を実施しました。レーザー機器の取り扱いについては、厚生労働省通達「レーザー光線による障害の防止対策について」により明文化されていますが、法令上の明確な規制ではないため、特に教育機関・研究機関におけるレーザー機器の使用に際しての取り扱いにかかる講習会の実施は、事業主の自主性にゆだねられています。

ご存知の通り、レーザー機器は、出力や光線の波長等によって、危険性の度合いが変わるため、危険性の低い方から高い順に1, 1M, 2, 2M, 3R, 3B, 4の7種類にクラス分けがなされていますが、今年、安全衛生委員会がおこなっている調査では、クラス3R以上のもので204台あり、クラス4のものは、そのうち46台あります。

今回、講習会の実施にあたっては、研究等で機器を取り扱っている研究室の学生を中心に、55名(学生44名、技術職員9名、教員2名)の方の出席があり、1時間ほどの石間教授のお話しに熱心に耳を傾けていました。

今回の講習会が、研究室の安全を高めることの一助となれば、幸いです。

(文責：横尾)



「安全」を考える

先日、会議の時間を間違えてしまった。このことで人間は間違えるものだという事を改めて実感した。昨今起きる様々な事故も機械等の故障もあるが、人的要因によるものも多い。機械の安全設計にはフェイルセーフという、機械や人間が操作ミスや誤動作をした場合に、安全な側、被害が少ないように制御するという考え方がある。私たち技術者が実験・実習を行う場合に、このような考え方を意識的に持つことは大事である。ところが常

に安全設計された環境に慣れると、人間本来の持つべき危機意識の欠落が生まれ、環境が変わった場合の対応力が養われず、危険度が増す可能性がある。もちろん安全第一が原則であるが、人間も失敗などの刺激を受けて変化(成長)できるようなしくみを、教育の場としての大学がどのように考えたらよいのか・・・昼食をとりながらいろいろと思いを巡らせたひとときでした。

(文責：尾池)



技術部室が7号館に引越しました

技術部室が7号館5階「技術支援室」に引越しました。技術相談や技術支援に関することは、下記までご連絡下さい。

理工学系技術部

TEL/FAX: 1085 (内線)

E-mail: tsk-senmon@m1.gunma-u.ac.jp

7号館5階
「技術支援室」が
新しい技術部室
です！

